

端末破損防止対策

《端末を長持ちさせるポイント》

1 タブレットが嫌がることはしない

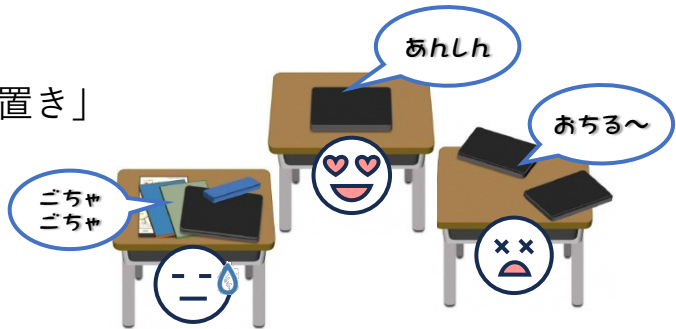
- 最も嫌いなことは振動や衝撃
- 暑さ・寒さが苦手
- 圧力を受けることが苦手
- 水や汚れは厳禁



子供たちは端末をゲーム機と同じように考えている可能性があります。新発田市からの貸与品であると同時に、iPad はゲーム機のように堅牢ではないことを認識させる必要があります。

2 机からはみ出さず「そっと置き」

- 机の上を整理して真ん中に置く
- 置くときは「そっと置き」



3 運ぶときは「赤ちゃんだっこ」

- ① 両手で端末を縦にして持ち、お腹につける
- ② 片方の手で端末を下から支える
- ③ もう片方の手で横から端末を押さえる

◆「赤ちゃんだっこ」の利点◆

- 教科書など他の荷物と一緒にだっこして安全に運べる
- 体の幅を狭くすることで、人とすれ違う時にぶつかって落下するのを防げる
- 足元が見えるので、安全に歩ける



赤ちゃんだっこ
©2023KANGARU,LLC.

画面破損で最も多い事由は、「机から落とした」「持ち運ぶ際に落とした」など「不注意による落下」です。置き方に気を付ける、持ち方を工夫するだけで落下は防ぐことができます。

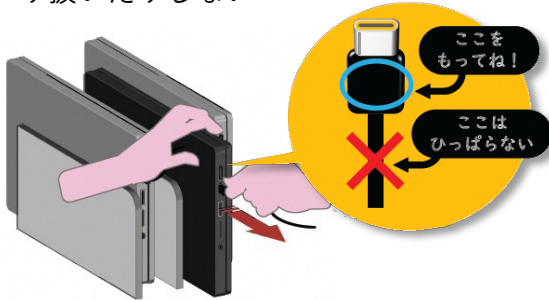
4 閉じるときは「そっと閉じ」

- 異物をはさまっていないことを確認し、そっと閉じる
- 軽いキーボード側からそっと閉じる



5 しまうときはていねいに

- ランドセルやカバンへの収納はていねいに
- 可能であれば、クッション性のあるケースに入れてカバンにしまう（タオル等を巻いて入れるものよい）
- 充電器のケーブルはコネクタ部分を持ち、無理に挿したり抜いたりしない



- クッション性のあるキルティング等で持ち運び用バッグを手作り
- 比較的安価なタブレット用バッグやクッションケースを購入

《持ち帰り時の注意点》

➤ 持ち帰り前の準備

- 充電器等付属品も一緒に持ち帰る場合は、付属品にもシールを貼る等自分のものが分かるようにする
- 端末本体や付属品の破損をチェックする

➤ 登下校時のルール

- 衝撃や振動を防ぐため、ケースに入れるかタオルにくるんでカバンに入れる
- 走らず歩いて持ち帰る
- 歩きながらの使用は絶対禁止
- 登下校の途中で取り出さない

➤ 家庭での使用ルール

- 使用前に手洗いをする
- 飲食中は使用禁止
- 手洗い場やお風呂など、水のある周辺では使わない
- 充電には専用の充電器のみを使う

家庭で使用する時も《端末を長持ちさせるポイント》を守りましょう。